

住友ゴム工業(株) 加古川工場

環境保全対策実施報告書

令和7年度（令和7年4月～令和8年3月）に実施しました環境保全対策及び令和8年度（令和8年4月～令和9年3月）の環境保全活動計画は次の通りです。

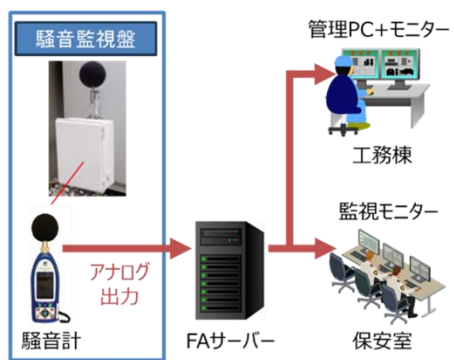
1. 環境保全対策実施状況（令和7年度）

(1) 大気汚染に係る対策

推進の内容	実施の成果
①ボイラーの最適運転により大気汚染防止に取り組む ア：ボイラーの定期整備 イ：排ガスの定期測定 ウ：オンライン24時間監視システム エ：メンテナンス契約（メーカー点検・整備等）	・ボイラーメーカーとの24時間監視システムによる運転管理と定期整備により、ボイラーの適正な運転を継続することができました。
②省エネ改善活動の推進 ア：省エネ委員会の活動 イ：蒸気、エア、熱の漏れ箇所調査及び修理 ウ：生産性向上活動 エ：空調機更新（9台）	・令和7年度は工場稼働状況が順調であり、省エネ活動も継続して行ったため、エネルギー原単位が対前年比で8.7%程度良化しました。 ・令和8年度も継続して省エネ活動を行っています。しかし、現時点で一部商材の減産が主要因となり、3月末時点においてのエネルギー原単位は対前年比で4.5%程度悪化しています。 ※エネルギー原単位： 単位生産量当りのエネルギー使用量 エ：空調機9台を省エネタイプへ更新し、電力削減を図りました。

(2) 騒音・振動に係る対策



推進の内容	実施の成果
①騒音測定の時常監視システムの導入  ②騒音削減対策 ア：敷地境界付近のファン周辺に防音シートの敷設	近隣住民の皆様へ24時間騒音連続データをお見せして対応できるようになったため、納得感や安心感が向上し良好な関係構築に繋がりました。 ア：敷地境界付近のファンの周辺に防音シートを取り付け、運転音の低減を図りました。

(3) 悪臭に係る対策

推進の内容	実施の成果
①定期測定時にパトロールを実施し、日常の管理を強化。また発生源対策として、溶剤系材料の使用量削減に取り組む。	工場敷地境界における悪臭等は、規制値内にあります。

(4) 産業廃棄物に係る対策

推進の内容	実施の成果
①廃棄物の分別およびリサイクルの推進	- 廃棄物の徹底した分別と製品の仕損を削減し、廃棄物の削減を進めました。 - 有価物化などリサイクルを推進しました。

(5) 緑化に係る対策

推進の内容	実施の成果
①工場敷地内の緑化の維持管理	絶滅危惧種(フジバカマ)の育成管理と加古川河川敷への移植活動を継続し、緑化環境の維持向上に努めました。

②近隣諸学校への株分け	・近隣小学校や中学校へフジバカマ株分けと環境保全活動の大切さについて出張授業を行いました。 
-------------	--

(6) 地域連絡会

推進の内容	実施の成果
①加古川工業団地連絡協議会	・令和7年総会に出席しました。 ・工業団地内美化活動を行いました。

(7) その他

推進の内容	実施の成果
①ISO14001の維持	・令和7年10月維持審査完了しました。継続的に環境改善に取り組んで参ります。
②環境内部監査	・令和7年6月内部監査実施しました。

2. 協定値と実績値の比較

(1) 大気関係

(実績値：最大値及び年間総排出量)

項 目		協 定 値	実 績 値
窒素酸化物排出量	(Nm ³ /時)	0.7	0.151
	(t/年)	8.6	1.307

3. 環境保全活動

(1) 令和8年度基本方針

項目	内容
基本方針	住友ゴムグループの「Our Philosophy」に定義したパーパス「未来をひらくイノベーションで、最高の安心とヨロコビをつくる。」を体現した事業活動を行うため、環境に関するマテリアリティ（重要課題）である「気候変動」「循環型経済」「生物多様性」に関する取り組みを進め、持続的成長と社会課題の解決の実現に貢献します。
組織体制	経営者 ・ハイブリッド事業本長 ・加古川工場長 パフォーマンス会議 ECO委員会 総務課 経理課 製造課 生産技術課 MR製造二課 生産課 工務課 品質管理課

(2) 令和 8 年度環境保全活動計画

環境保全活動	目標	目標達成のための計画、方策
化学物質管理	化学物質の管理とそれによる使用量削減	①化学物質の管理による使用量削減を行います。 ②新規化学物質登録システムの運用により、新たに化学物質を含む原材料を使用する場合は事前に化学物質リスクアセスメントの実施を徹底します。
エネルギー対策 (地球温暖化防止対策)	- 法令及び協定の順守 - エネルギー原単位対前年 1%削減	①製造工程の生産性を向上させることにより、電力・蒸気原単位の改善に努めます。 ②工場設備で発生する蒸気ドレンを回収し有効利用する等、省エネをさらに進めます。 ③日常点検を強化し、蒸気漏れやエアのリーク等の補修に対して迅速に対応します。 ④老朽化した空調機 6 台を高効率タイプに更新し消費電力削減を図る計画です。
廃棄物対策	- 法令の順守 - 廃棄物有価物化率対前年 1%向上	①製品の仕損を減少させるなど廃棄物発生量の削減に努めます。 ②廃棄物の有価物化などリサイクルを推進していきます。
不法投棄に係る対策	法令の順守	①産廃委託業者への監査実施 ②産廃電子マニフェストの運用 ③法改正に伴う委託契約の見直し
緑化に係る対策	- 緑地の維持管理 - 近隣企業・地域との連携	①どんぐりプロジェクトの推進 ②生物多様性保全活動拡大として「フジバカマ」「ナガボテンツキ」「ナガボノワレモコウ」等の絶滅危惧種となっている植物育成を継続実施します。 ③近隣小学校、中学校様へのフジバカマ育成フォロー実施
悪臭対策	法令及び協定の順守	①環境測定時のデータを基に日常管理強化に努めます。また、発生源対策として、溶剤の使用量削減と水系化の転換を進めます。
土壌汚染対策	法令及び協定の順守	①当該区域の明示、および定期測定を行い、モニタリングを継続します。 ②万が一有害物質を漏洩させた場合の被害を最小限にできる様、年 1 回の緊急事態対応訓練を実施します。

環境マネジメントシステム	・環境マネジメントシステムの運用と推進	①ISO14001 環境マネジメントシステムの運用により、環境面での継続的改善を図っていきます。
地域社会への参画	・地域児童への支援	①NPO 法人 One Heart のサポート（子ども食堂への支援）
周辺環境に影響を与えるおそれのある事故等発生時の地元への広報等	・事故等の事態に係る情報を広く市民に周知する。	①関係官庁へ迅速な報告を実施すると共に、加古川市のホームページ、防災メール、X (旧ツイッター)等を通じ広く情報発信を行います。

添付資料： 工場配置図及び騒音測定場所

